

# 学校だより

平成27年4月7日

佐渡市立七浦小学校

## 初心を忘れずに

校長 小田 淑和

平成27年度が始まりました。新1年生のいわさきたもんさん、かねこゆうがさん、さかもとこうたさん、なかむらこうしんさん、やまもとなつきさんの5名が入学して、全校児童49名、職員11名でのスタートです。

新1年生はもちろん、それぞれ進級した子どもたちの顔が引き締まって見えます。そんな子どもたちの姿を見ていると、「初心忘れるべからず」という、言葉を思い出します。また、「始めよければ、すべてよし」という、言葉も思い浮かびます。「初心忘れるべからず」は、初心はややもすると忘れられやすいという、人の弱さを戒めている言葉です。「始めよければすべてよし」は、始めによい目標を立てよいスタートを切ることの大切さを示した言葉です。

新年度のスタートにあたって、私は初心を忘れず、地域の宝であるこの子どもたちを、保護者や地域の方々と手を携えて、大事に大事に育てていかなければと肝に銘じているところです。

子どもにとっての学校は、子どもと職員との温かい関係の中で楽しく学び、友だちとのかかわりの中で共に成長できる所でなくてはなりません。子ども一人ひとりの存在が大切にされる学校でなくてはなりません。子ども一人ひとりの努力が実って勉強や運動ができるようになる学校でなくてはなりません。友だちと切磋琢磨しながらお互いが高まっていける学校でなければなりません。さらに、そんな学校に高めていきたいと思えます。

昨年度は、140周年の運動会や文化祭、記念誌の発刊等、地域、保護者の皆様のご協力のもと、思い出深い年にすることができました。今年は、新たな10年のスタートの年です。佐渡学を中心とした地域学習の中で、地域の皆様と一緒に学習を進めていきたいと思えます。また、民謡クラブの活動を通して、地域に貢献できる活動を進めていきたいと思えます。何よりも、一人ひとりの子どもが輝き、充実した学校生活を過ごせるようにしていきたいと思えます。

今年度も49名の子どもたちが、さらに大きく成長できますよう、変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。